

エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会

意見表明者の意見概要一覧（名古屋会場）

意見表明番号	意見表明概要
1 ゼロシナリオ	自然エネルギーもそうですが、バイオガス・コージェネなど廃棄物から電気をつくることも十分にできるはずです。新たな経済活動を始めていくべきだと思います。経済のために生命や地球を危険にさらすのはやめにしましょう。日本は素敵な国だから、これから生きる世代のためにも原発には反対です。
2 15シナリオ	2030年までなら、15シナリオが経済成長を考えると妥当。だが、それ以降の展望も示すべき。最終的にはゼロシナリオを推進してほしい。そのための投資であれば経済負担もありだと思う。
3 20-25シナリオ	原子力の負の面ばかり強調され、ゼロシナリオや15シナリオのリスクが十分に議論されていない。代替電源（燃料を含む）確保の見通しや燃料調達に伴う資本の海外流出、太陽光パネルの耐久性・廃棄方法などのリスクを共有化した上で正しい選択をすべきである。
4 15シナリオ	自然エネルギーの普及は急務であるが、日本には自然エネルギーが普及する仕組みがまだ整っていない。 固定価格買い取り制度だけでは、ドイツのように財政負担が過剰になる恐ればかりが高く、十分ではない。発送電分離をして、自然エネルギー業者が参入しやすい仕組みを整えてから自然エネルギー社会へと移行すべきであり、2030年まではその素地を固める期間にすべきである。
5 ゼロシナリオ	今後のエネルギー政策について、電源構成にのみを語るのではなく1次エネルギーの自給率を上げる政策を考える。 原発については、事故を起こした福島と同様の形式は廃炉にする。使用済み核燃料の処理についても考える。 分散型エネルギー社会に向けた規制・制度を考える。 エネルギー政策についての情報公開・情報発信の透明度を要望する。
6 20-25シナリオ	
7 ゼロシナリオ	原子炉の運転に伴って発生する核分裂生成物の有害性は、文明の存続期間をも超えて続きます。核分裂生成物の処分方法が近い将来確立される期待は持てません。世界有数の地震国である日本で原子炉を運転することは、核分裂生成物の放出が不可避であることを意味します。一刻も早く原発への依存をゼロにすべきです。

8 20-25 シナリオ	国民生活に不可欠な電力は、何よりも安定供給が重要であり、そのためには原発維持が必要。20-25 シナリオの原発維持の姿勢は評価するものの、再生可能エネルギーや省エネについては現実的な観点に照らして再考することが必要。
9 15 シナリオ	

意見表明概要の掲載に関するご本人許諾がない方は、空白としています。